

「君の椅子」の制作

「君の椅子」2008年モデルが決まりました。3年目のモデル名は「スタンプ」。茨城県在住の造形作家、前川秀樹氏（40）のデザインに、町内の「むう工房」向坊明さん（54）主宰Ⅱが製作を担当しました。

5月19日、旭川大で発表会がありました。デザインコンセプトは「横にして転がして、たてにして腰掛けて、くるまれる。『スタンプ』は、『切り株』の英訳です。『印』という意味もある言葉です」と表現しています。

向坊氏は、くるみ材を使い、材料は「曲げ」処理をせず、1本ずつ手をかけた削り出し部材で強度を確保しました。ビス止めの金属ビスは、すべて面取りして丸みをつけ、幼児がけがをしないように気遣っています。今年のモデルは塗装しています。塗料は玩具用の植物油オイル。幼児がなめても安心な塗料を使っているのが特徴です。

発表会には、山内亮史学長、磯田



モデル名「スタンプ」と製作者の向坊氏（発表会場）

憲一同大大学院教授、松岡市郎町長のほか、昨年と同プロジェクトに参加した佐々木智雄剣淵町長らも出席しました。「君の椅子」は、初年度、2年目ともに、新たな命を授かった町内51人ずつの赤ちゃんにプレゼントされています。歴代3代の「君の椅子」モデルは、道立旭川美術館で開かれる「木工Power!」展（6月7日〜10月5日）に展示が決まりました。

中野中学校のEU文化センター

5月8日、東川中学校にEU（欧州連合）から、駐日スペイン大使館セルバンテス文化センターのヴァイクトル・ウガルテ館長が来校。EUの活動やスペイン文化施設のさまざまな活動を紹介しました。

欧州連合発足50周年を記念して、EU加盟の各国駐日大使や外交官が全国29都道府県105校を訪問しました。東川中は、旭川北高、旭川凌

トリアスロン大会が土木学会道支部の地域活動賞を受賞

「大雪山忠別湖トリアスロン ひがしかわ」（藤田裕三大会長）がこのほど、土木学会北海道支部（坂本容支部長）の平成19年度地域活動賞を受賞しました。第20回大会を最後に閉会した「日本海オロンライントライアスロン国際大会」（羽幌町など）に代わって、昨年7月に初開催し、個人140人、チーム参加7チーム合計約160人が出場しました。受賞選考理由は、道



藤田裕三大会長（右）と松岡町長

内唯一のトリアスロン競技大会であり、山間部のダム湖を利用する珍しい競技会であることなどです。地域活動賞は、ほかに稚内みなとまちづくり懇談会、東日本高速道路（株）北海道支社帯広工務所の2団体が受賞しました。このほか、同学会北海道支部の表彰として、忠別ダムが「砂れき上に建設した国内最大級の複合型ダム」の技術賞を受賞しました。

雲高、遠軽高とともに道北地方4校の訪問先の一カ所です。

ウガルテ館長は「EU域内は、国境間の往来が自由で、スペインに住んでいてもポルトガルのスーパーのほうに安ければそこに買い物に行くとかベルギーの人の勤務先が



フランス、という事例もあります」などと自由往来の特徴を解説しました。

母国スペインについて「フラメンコと闘牛、サッカーの国と思われていますが、ほかに魅力がたくさんあります。柔道の人気が高いです」などと約1時間の講義をしました。